

第3回石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 議事録

■日時 平成27年9月30日（水） 午前10時～12時

■会場 庁議室

■出席者 別紙のとおり

■会議内容

1 会議開催について

委員数19名に対して12名が出席しており会議は成立。

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案について

<質疑>

【委員】

ネウボラとはどういう意味か。略称とすれば何の略なのか。

【事務局】

ネウボラとは、略称ではなくフィンランドで実施している、妊娠期から子どもの就学前にかけての子どもや家族を対象とする支援制度の名称で、「アドバイスの場所」という意味である。

【委員】

ネウボラは、「次世代型地域包括ケアの推進」の1つとして位置づけているが、どのように地域包括ケアと関わるのか。

【事務局】

妊娠と子育ては、相談等を行う担当課が現在は分かれているが、地域包括ケアの窓口でもある福祉部に担当課を一本化し、1か所で様々な相談を受けられるようにしていくことを検討している。

【委員】

DMOはまだ日本では新しい概念だが、今回の5年間の総合戦略の計画期間内で早速勉強会などを開き検討していき、計画期間の終了する平成31年度にはDMOを活用できるようにする予定か。

【事務局】

近隣市町村や宿泊施設・旅行業者などと連携し、これからDMOを検討する予定であり、総合戦略の計画期間内に、ある程度、形になるようにしたいと考えている。

【会長】

今取り上げている総合戦略の視点は、5年間の中で取り組めることから実施し、毎年評価できるものはPDCAサイクルで見直し、5年後にはすべての事柄について何らかの形にしていきたいという認識である。

【委員】

どのような取り組みから進めていくのか。また、総合戦略の鍵は人材だと個人的には考

えるが、地域づくり全体をコーディネートしていくような人材の育成について、現在具体的な案があるのか。

【事務局】

現在、想定している人材育成として、医療介護分野の専門職の育成を考えている。外部から専門的な人を呼ぶなどの具体的な施策は、最終案を出すまでに検討する予定である。

【委員】

日本版 DMO とは、現在、観光協会が行っている取り組みとは異なるのか。また、資料 2 概要版 10 ページにある基本目標 2 「質の良い雇用」の定義は何か。さらに、創造的
事業に取り組むことは素晴らしいが、中小企業を含めた既存企業への支援についても考慮してほしい。

【会長】

観光協会が取り組んできたことは、資料 2 概要版 6 ページの一部であり、観光客を対象としてきたが、DMO の対象は交流人口を含んでいる。交流人口とは、訪れた場所で観光に加え、学びや知見を得て、気に入ればその場に住むことも選択する可能性のある人を包含している。日本版 DMO を推進するためには、観光協会や、その他の団体同士の連携がますます必要と考える。

【事務局】

DMO については、観光を戦略的に取り組み長期的な支援を行うことで、広域的な連携や様々な団体（関係者）が連携できるようにしたいと考えている。「質の良い雇用」とは、「安定的に生活ができる労働環境を整える」という意味で用いている。また、中小企業を含めた既存企業への直接的な支援は、産業振興の施策内で想定している。

【会長】

既存企業への支援の中には、交流人口や地域包括ケアなどの取り組みにおいて、担い手として企業に手を挙げてもらい、民間ができることは民間で行うということも含まれる。行政や民間でお互いバックアップし合い、共に創っていくことができると良いのではないか。

【委員】

資料 2 概要版の 1 ページの新規雇用 600 人や婚姻数 660 件は、どのような根拠で算出されたのか。昨年度の値はどうか。

【事務局】

新規雇用は、今後の市内各企業での雇用が発生する見込み数の積み上げた数となる。

【会長】

新卒の学生は見込み数の中に含まれるのか。

【事務局】

雇用創出数は、新規雇用の数値であり、新卒者は含まない。過去の実績は手元にないので、後ほど提供したい。

婚姻数の算出根拠についてですが、平成 26 年度の件数が 669 件であり、女性人口は現在から 9%減少すると予想されますが、目標数値は現状を維持することを目標とし

て、端数を切り捨てて660件と設定した。

【会長】

質問はここまでにして、資料2について細かく見ていき、ご意見いただきたい。

【委員】

資料2概要版の1ページの基本目標「若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる」の目標値に出生率は含まないのか。

【事務局】

出生率は結婚以外の多くの要因が関係する値であり、どの程度事業の効果があつたか測りにくいいため、ここでは出生率ではなく婚姻数を示している。

【会長】

出生率も目標に書き込んで良いのではないか。

【委員】

出生率を目標にあげるのが難しいのであれば、他の現実的な数値を示すことも検討してほしい。

【会長】

出生率も含めて、将来人口推計のパターンは3-1を用いることで良いか。

【委員】

2020年までに出生率を「1.6」にすることは現実的に厳しいので、将来人口推計はパターン3-1でも良いのではないか。

【会長】

目標値は必ず達成するものなのか、あるいはプロセスを大事にして高めに設定しているのか。個人的には、パターン3-1より高い目標であるパターン3-2を選択したことを、評価している。少し高い目標設定かもしれないが、家庭内での親子や教育現場での意識の改革、待機児童ゼロ、中小企業を含めて子育てしやすい就労環境への支援といったありとあらゆる取組みを意欲的に進めていくためにもパターン3-2で良いのではないか。

【委員】

自分の娘世代を見ていると、5年間で出生率が上がると考えにくい。現在の数値目標は、現実離れた数値ではないかと心配である。

【会長】

実現に向けては、ありとあらゆる大変な課題を、民間を交えて取り組んでいかなければならない。

【復興政策部長】

ご指摘のとおり厳しい目標数値となっている。4人に1人はもう一人お子さんを産んでいただかなければならない値となっている。国が地方主導でまちづくりを進められるように各自治体に総合戦略策定を要請したこの機会を活かして、若者世代が地方に住めるように、主体的に様々な人と連携して、施策展開等進めていきたいと考えている。

【会長】

資料2概要版の4ページから8ページの内容について、ご意見をいただきたい。

【委員】

資料2概要版の8ページの農林水産業について、国内での風評被害などを考慮すると、海外輸出は必要ではないか。ぜひ取り組んでいただきたい。

【会長】

市では9月から高度衛生管理が可能な魚市場が開設した。ぜひ訪れてほしい。ヨーロッパ等輸入規制が厳しいところの基準も考慮した高機能な施設が作られている。

【市長】

市では既に海外輸出を進めているところであり、タイ、マニラ、香港への輸出について取り組んでいる。

【会長】

輸出に挑戦したい農林水産業者にも伝えていただきたい。

【委員】

前回、水稻農家の担い手が不足していると伝えたが、JAや全農などあるが、どのように強化し、輸出を増やそうとしているのか。また、農家と言っても、米で生計を立てているところもあれば、そうでないところもある。輸出をしていきたい、水稻農家として生計を立てていきたいという農家に優先的に海外輸出の情報発信をしてほしい。

【復興政策部長】

既存企業への助成など、既に動き始めている部分もある。第1次産業の後継者育成にも取り組んでおり、できることからやっていくようにしたい。

【市長】

海外輸出については、現在、水産業を主に進めているが、米の海外輸出も検討させていただいている。海外輸出の際には、JAとも十分相談する予定でいる。海外展開は、様々な波及効果があるので、海産物を輸出する際、石巻市の観光パンフレットや農産物を広報するといった取り組みも行っていきたい。

【委員】

資料2概要版の6ページの移住促進について、移転促進事業や空き家活用事業がある。空き家活用として、他市町村では地銀が後押しし、空き家を利用する人に助成するところもある。石巻市では事業者を対象に空き家活用事業を行っているが、個人に対して今後、空き家活用の助成はあり得るのか。

【事務局】

現在は、NPOが空き家活用の取り組み案件への支援はある。産業部で担い手育成のための空き家活用の取組みはある。国の法改正もあったので、市の空き家の取組として、建物の除却などに補助を入れることもあり得る。

【委員】

資料2概要版の5ページの子育て世代の支援策について、現在経済的な理由もあるだろうが、相当な支援がないと人口が増加することは難しいと考える。また、仮設住宅で広場がない状態である。いつ頃仮設住宅の集約等進むのか。そしてその後、子どもが遊べるように遊具を設置するなど、どのようなスケジュールで考えているのか。

【事務局】

具体的には話せませんが、仮設住宅の入居率が下がってきたら、仮設の集約化にも取り組んでいく予定であり、集約化した後の跡地活用について検討している。

【委員】

雇用創出として、NPO やパート、女性や高齢者の再雇用といった働き方をしている人もいる。正社員だけではなく新しい働き方が増えている。また、医療、介護分野では募集はあるが、応募の不足がずっと続いている状況である。高校・大学での進路選択の際にキャリア教育といった場面を設け、様々な職業を知り、夢を描けるような機会が必要ではないか。

人づくりについて、まちづくりの担い手となる起業者や市民団体など様々な人を育てることは課題だと考える。担い手の育成の中で、創造的なプロデュースができる強いリーダーを育て、地域の担い手をさらに増やすという視点を持って、支援をお願いしたい。

【事務局】

正規職員を望まない働き方等を選択する人など、個々のライフスタイルのニーズを考慮して検討したい。人づくりについては、現在、創業支援事業といった新たな取り組みを進めている。学生も含めて起業を図れるような事業も検討していきたい。

【委員】

自分の子どもを見ていて、子どもをどう結婚に向かわせるかが難しいと感じている。私は障がいを持つ子や、不登校になった子も育ててきた。子どもの抱える問題について、行政などに相談に行くとたらい回しにされることもあった。そのような経験を考えると、子どもの子育てに関する担当部署が一本化されることは有り難い。また、震災が起きてから4年半、様々な団体が個々に復興活動を行ってきたが、連携していく時期だと考える。しかし、連携する際のつなぎ役になれる人がいないと感じている。

【会長】

私の意見では、つなぎ役はいないのではなく、今いる人にやらせてみるべきと考える。経験値がないため尻込みしてしまう人が多いが、失敗してもやらせてみるという姿勢が必要ではないか。

【委員】

北上地域内で、復興応援隊として3年、その前からまちづくりの活動を行ってきた。その活動の中でマンパワーが不足していることは感じている。この総合戦略の4つの視点を本当に実現するためには、誰が何をいつやるかという具体的なことまで考慮することが必要だと考える。

【会長】

資料2は今後も総合戦略を進めていくうえで大切な資料であり、今後も意見を受付けていくので使ってほしい。

交流人口については、日本には1300万人の海外からの来訪者がいるが、東北には50万人弱しか来ていない。インバウンドを取り入れることが重要であり、マルチ言語化も必要となるだろう。

また、人材については、松下村塾のような人を育てるための塾のようなものがあるのではないかと考えている。日中はインターンシップで働き、夜は塾で学ぶ。幸い講師になれる方は石巻に多くいる。

働き方として、派遣が今問題視されているが、かつては若い人の色々な働き方が称賛されていた。欧州でもワークシェアリングなどが広く取り組まれており、多様な働き方があるといい。

(2) 9月9日開催した地方創生に係る意見交換会について

<質疑>

【委員】

総論が多いので、「課題があり、それをどうすればいいか」といった具体論まで意見を聞くようにしていただきたい。また、平均年収など、いくらお金があれば石巻で豊かに暮らせるのかという具体的な所を抑えてから話を進めたほうがよい。

【事務局】

平均年収など資料を確認して、後日、提供したい。

4 その他

5 副会長あいさつ

【副会長】

働きたい人と雇用のマッチングがうまくいっていないことや、子育てする母親への短時間労働などの就労情報がうまく伝わっていないことに関して、何かできることがあるのではないかと考える。また、地元商業の担い手についても考えていただきたい。鳥取県の事例では、商店街で若い人の家賃補助を行い、うまく経営ができればそのまま商店街で経営してもらおうといった施策に取り組んでいる。様々な手法があるのではないかと。震災後に多くの空き地があるが、ドイツではそのような空き地を公園化して固定資産税を安くする手法をとっている。創業支援については継続的な支援を行ってほしい。短期では地域に何も残らなくなってしまう。また、行政の窓口の中に、民間人を入れることも良いのではないかと。

最後に、この場や事務局で一生懸命策定する総合戦略が、5年間取り組みを進める担当課にとっても主体的に実行していけるものになるよう、会議の場などで我々も直接担当課の職員と話せると良いのではないかと思う。

石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員出欠名簿

(平成27年9月30日現在)

| No. | 氏名 | 所属 | 備考 |
|-----|---------------------|----------------------------|------------|
| 1 | あい 曾 田 まさし 正 | 七十七銀行石巻支店 | 出(代理:長谷川様) |
| 2 | あ 安 住 えい 栄 いち 一 | 牡鹿地区住民代表 | 出 |
| 3 | あ 阿 部 きよこ 紀代子 | コンパクトシティいしのまき・街なか 創生協議会 | 出 |
| 4 | あ 阿 部 みやこ 都 | いしのまき農業協同組合 | 欠 |
| 5 | あら 荒 木 ひろ 裕 み 美 | 特定非営利活動法人ベビースマイル石巻 | 出 |
| 6 | おお おお 大 なみ 浪 しげる 茂 | 河北地区住民代表 | 出 |
| 7 | き 木 むら 村 みほ 美保子 こ 子 | いしのまきNPOセンター | 出 |
| 8 | ご 後 とう 藤 むね 宗 のり 徳 | 石巻観光協会 | 出 |
| 9 | さい 西 じょう 条 たく 拓 や 也 | いしのまき農業協同組合 | 出 |
| 10 | さ 佐 とう 藤 せい 清 こ 子 | 河南地区住民代表 | 欠 |
| 11 | さ 佐 とう 藤 なお 尚 み 美 | 北上地区住民代表 | 出 |
| 12 | しな の 品 野 こういちろう 光一郎 | 宮城県漁業協同組合 | 欠 |
| 13 | しょう 庄 じ 子 ま 真 き 岐 | 石巻専修大学 | 欠 |
| 14 | だい 大 こく 黒 まさ 雅 ひろ 弘 | 日本労働組合総連合会宮城県連合会石巻地域協議会 | 欠 |
| 15 | たか 高 はし 橋 まゆ 真由 み 美 | 雄勝地区住民代表 | 出 |
| 16 | なか がわ 中 川 なお 尚 のり 仙 | 石巻商工会議所 | 出 |
| 17 | なが 永 さわ 澤 さだ 貞 よ 代 | 桃生地区住民代表 | 欠 |
| 18 | は 芳 が 賀 のぶ 信 ゆき 幸 | 石巻市地域包括ケア推進協議会 | 出 |
| 19 | み 三 うら 浦 と とき え 工 | 石巻市地域婦人団体連絡協議会 | 欠 |

(氏名の五十音順、敬称略)